

E112		臨床心理学入門	
英名科目名	Introduction of Clinical Psychology		
大学名	京都光華女子大学		
連絡先	学生サポートセンター修学担当 TEL : 075-325-5350 FAX : 075-325-5317		
担当教員	大谷 多加志 (健康科学部心理学科 准教授)		
開講期間	2021年04月06日(火)～2021年07月20日(火) 1講時 8時50分～10時20分 休講 2021年05月04日(火・祝)		
開講形態	前期・春学期	開講曜日・講時	火曜日 1講時
単位数	2	履修年次	1年次以上
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員			
単位互換生定員	10	京カレッジ生定員	5
試験・評価方法	<p>【成績評価方法】 授業中の課題(ミニレポートや質問カード)を通じた興味関心の評価 50% レポート試験 50% 前半のレポートは、8回目に提出すること 後半のレポートは15回目に提出すること</p> <p>【成績評価基準】 評価基準： 1 前半及び後半の授業内容を踏まえたうえで自分の感想や考えを簡潔に述べていることができるかどうか。 2 既存の情報を読み取って要約することができるかどうか。 3 自分の考えを論理的に組み立ててそれを記述することができるかどうか。 を中心に総合的に評価する。</p>		
超過時の選考方法	書類選考		
受講料	科目等履修生(履修料20,000円、選考料科目数を問わず10,000円) 聴講生(聴講料10,000円、選考料免除)		
別途負担費用	なし		
その他特記事項	<p>女子のみ受講可。</p> <p>【授業時間外学修(予習・復習等)について】 1 前半は臨床心理学の歴史とその背景をもとにした課題、後半は精神発達理論をもとにした課題、前半と後半それぞれ異なるテーマで課題を自らの興味関心に応じて、文献を読み、レポートにまとめて提出すること。そのためには、毎回復習を30分程度行うことが望ましい。 2 大きなテーマでレポートにまとめる作業は前期、後期1回ずつとなるが、最低限の目安として、配布資料を基に文献を調べる時間は約1時間、実際に文献に読む時間は3時間、まとめて記述する時間は2時間程度必要となる。</p>		
パッケージ科目			
低回生受講推奨科目			
講義概要・到達目標			
<p>【授業テーマ】 臨床心理学の歴史とその背景を理解し、臨床心理学の目的や心理臨床の知見に触れ心の構造の理解を深める。人間の精神発達の流れを知り、心の成長・発達の理論を習得する。</p> <p>【授業の概要】 臨床心理学の歴史とその背景、精神発達理論を学び、心の健康と病理についての身近な話題を通して、心の構造やその働きを理解する</p> <p>【到達目標】 1 臨床心理学の簡単な歴史とその背景を理解する 2 臨床心理学の目的や心理臨床の知見に触れ、心の構造の理解を深める 3 精神発達理論における各年代の発達課題とその危機を理解する</p>			

講義スケジュール	
<p>【授業計画及び授業内容】 本授業はオムニバス科目であり、各回の担当は以下の通りである。 第1回：オリエンテーション 第2回：臨床心理学の歴史：精神医学・心理学との関連・位置づけ、考え方の基本 第3回：心理療法：援助の方法、聴くということ 第4回：心理査定法について：歴史の概観、種類の紹介、人格理論の紹介 第5回：心の病概論(1)：神経症 第6回：心の病概論(2)：統合失調症 第7回：心の病概論(3)：躁うつ病 第8回：ダイエットの臨床心理学：身体性、女性性、摂食障害、効率主義など 第9回：心の構造とは何か(1)フロイトによる精神分析 第10回：心の構造とは何か(2)ユングによる深層心理学 第11回：心の発達とライフサイクル論(1)乳幼児期の危機と病理：母と子の絆 第12回：心の発達とライフサイクル論(2)学童期の危機と病理：不登校の姿 第13回：心の発達とライフサイクル論(3)思春期青年期の危機と病理：アイデンティティの確立 第14回：心の発達とライフサイクル(4)中年期の危機と病理：バーンアウト 第15回：精神発達理論と病理まとめ</p> <p>【授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック】 1 授業は各回の配布資料を中心に講義形式でおこなう。 2 心の健康と病理についての身近な話題を紹介したVTRを見ながらミニレポートにまとめる。 3 質問や課題提出はなるべく時間内に行うこと。</p>	
教科書	なし
参考書	<p>神谷美恵子「こころの旅」みすず書房 河合隼雄「無意識の構造」中公新書 河合隼雄「コンプレックス」岩波書店 滝川一廣「心の本質とは何か」ちくま書房 滝川一廣「家庭の中の子ども学校のなかの子ども」岩波書店</p>